

平成14年度小学校ジョイフル英語学習実践事例

学校名	飛騨地区小学校	対象学年	第4学年	実施時期	11月
題材名	感謝祭を通して家族に感謝の思いを伝えよう				
主な表現 補助資料	What are you thankful for? I'm thankful for (). 世界地図 国旗カード 感謝祭の絵カード				
本時の目標	感謝祭を通してアメリカの文化を知り、ゲームを楽しむことができる。				
学習活動	教師の指導・援助	留意点			
<p>1. ハロータイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ALT, JTE, HRTらと挨拶をし、今日の自分の体調を答える。 Hello, everyone. Hello, ~. How are you? I'm ~. And you? <p>2. ウォーミングアップタイム 〔ジャンケンゲーム・国旗の復習〕 2チームに分かれ椅子を向かい合わせて2列並べる。 Head, shoulder, knees & toesの曲に合わせて動作をつけながら移動する。止まったら座る。向かいの相手とジャンケンをし、勝ったら相手に尋ねる。 A: What country is it? B: It's ().</p> <p>3. スキットタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ALTから感謝祭の話を書く。(Thanks givingの言葉の意味) 感謝祭に関する物、人を聞く。 boys & girls, apple, pumpkim, hat Pilgrim, ship, turkey, Native American, etc. ALTとJTEのスキットを聞く。 A: What are you thankful for? B: I'm thankful for (). <p>4. チャレンジタイム 〔感謝祭バスケットにチャレンジ〕 児童一人ずつ絵カードを持ち、輪になって椅子に座る。一人は中央に立つ。感謝祭のキャラクターの中から1つ2つ単語を言い、そのカードを持つ児童は席を移動する。"Thanks giving"と言うと、全員が席を移動する。</p> <p>5. サンシャインタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日がんばった自分の姿や仲間の良さを見付け、カードに書く。 <p>6. グッバイタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> 終わりの挨拶をする。 	<p style="text-align: center;">A=ALT, J=JTE, H=HRT</p> <ul style="list-style-type: none"> 三者でルール説明を行い、ゲームで使う会話の例を示す。 三者は援助が必要な児童に個人的に説明を加える。また、児童の様子を観察しながら、励ましたり、共にゲームに参加したりすることで、温かな雰囲気を作り出す。 AとJは絵カードを見せ、児童の反応を見ながら、ゆっくり丁寧に感謝祭の説明をする。 Hは児童の反応の様子を見ながら、ヒントを与える。 HはNative Americanについての説明を加える。 三者でスキットを見せる。また、感謝の理由を話す。 AとJは絵カードの発音をゲーム形式で確認する。絵カードを児童一人一人に手渡す。その時にも、発音をゆっくり聞かせる。 三者でゲームに参加し、移動のなかった絵カードの単語をJが意図的に取り上げる。 Hは児童の自己評価を肯定的に評価するとともに、積極的に英語を用いたり、相手と関わったりしていた姿を認める。 	<ul style="list-style-type: none"> 三者が教室の四方に散らばり、声のする方向に児童が体全体を向け挨拶ができるようにする。また、体調の答え方もそれぞれ変えて、表現方法を工夫するように配慮する。 国旗カードは児童の実態に配慮しながら手渡す。また、国名をゆっくり発音しながら渡す。 消極的な児童や自信がもてない児童に寄り添い、うまく言えたときには"Very good!", "Great!"と認め励ます。 児童がALTの話に集中できるように配慮する。また、児童のつぶやきを取り上げ、理解を深められるようにする。 理由については、日本語でもよいこととする。 消極的な児童や自信がもてない児童に寄り添い、自信をもって発音したり、活動に参加できるように援助する。 			